

平成23年度 第1回地域包括支援分科会 会議要旨

1 開催日時

平成23年5月24日(火) 17:30~18:30

2 開催場所

北九州市役所 91会議室

3 出席者等

(1) 委員

井手委員、財津委員、下田委員、白木委員、白水委員、新川委員、田中委員、中村委員、渡邊委員

欠席者 今村委員、河原委員

(2) 事務局

地域支援部長、いのちをつなぐネットワーク推進課長、計画調整担当課長、介護保険課長、健康づくり担当課長

4 会議内容

(1) 分科会長・副分科会長の選出について

(2) 地域包括支援分科会の設置趣旨及び今後の進め方について

(3) 地域包括支援センターの体制について(報告)

5 会議経過及び発言内容

(1) 分科会長・副分科会長の選出について

委員の互選により、分科会長に中村委員を、副分科会長に財津委員を選出。

(2) 地域包括支援分科会の設置趣旨及び今後の進め方について・・・資料1

【発言趣旨】

委員：介護と医療に連携について、口腔ケアの問題は大切であるが、歯科医師とケアマネジャーとの連携がうまくいかなケースがある。歯科医とケアマネジャーとの連携について調査する等、検討しなければならないのではないか。

委員：ケアマネジャーに訪問歯科診療等の窓口も十分に周知しきれていない現状がある。利用者に対しても、口腔ケアを啓発していく必要がある。まず実態がどうなのかを調査をできるとよいのではないか。

委員：経験の浅いケアマネジャー等の中には、口腔ケアの問題を生活課題としてとらえてない者が多い。そこは研修会等で強化していかないといけない。

委員：介護と医療の連携については服薬の問題もある。特に初期の認知症の方にとっては、難しい問題である。薬剤師の訪問等についても啓発に努めるべきである。

分科会長：服薬を正しくしてもらうということは、予防効果があるかと思う。薬剤師・薬局との連携体制も必要である。

委員：最近、医療行為の必要な方の在宅復帰がととも増えてきている。介護する方は高齢で老老介護が多い。訪問看護を潤沢に受けられる環境でもない。介護と医療の連携を充実しないといけない中で、連携を支援するケアマネジャーの知識が十分足りていない現状もある。連携の中心であるケアマネジャーの教育を、行政と職能団体とで考えていかなければいけないのではないか。

委員：医療等につなげた方はまだいい方で、そこにつなぐまでにいたらない人達への問題がある。民生委員は1人で約300世帯を担当しているが、地域の協力を仰ぎ、見守りの網を小さくする努力をしている。単身者や高齢者世帯、老老介護、老認介護等、こういう人たちをだれが見守り適切な福祉資源につなげるのか、予防という観点ではまだその点が希薄であるので、今後検討が必要である。能動的に対応していかなければならないのではないか。

(3) 地域包括支援センターの体制について(報告)・・・資料2

【発言趣旨】

分科会長：地域包括支援センターの体制変更については、平成22年度の質の向上委員会及び専門委員会の中で議論をして、このような結論に達した経緯がある。

委員：体制変更の方向性が決まっている中で、当分科会としてどう関与していくのか、また、保健師の効率的な配置ということは、包括の保健師に地域保健業務と兼務させるということだが、保健師係長のマネジメント、人材育成等をどう考えるのか伺いたい。

いのちをつなぐネットワーク推進課長：今回の体制変更に関しては、昨年度の質の向上委員会や専門委員会において、地域包括支援センターの現状を把握しながら検討してきた経緯がある。今後も同じように分科会において現状を報告する。報告する内容は、昨年度、地域包括支援センターの評価指標を定めたので、指標に添って報告し、現状把握していただきながらご意見をいただきたいと考えている。

保健師については、1人の保健師が包括の業務と地域保健業務を兼務するということではなく、いままでどおり個別の業務を行っていく。保健師の効率的な配置というのは、情報交換を密にしていくということと、地域保健系の嘱託保健師と包括の正規保健師と併せ、業務課題を把握し効率を考えながら配置することである。

保健師係長のマネジメント力は重要と考えているので、保健師係長が業務多忙の中でもマネジメントに集中していけるよう整理しながらバックアップしていきたい。

委員：今までは地域包括支援センターに役職者がいなかった。体制変更後は保健師係長のマネジメントが大事になってくる。マネジメント会議等を開いて情報交換して欲しい。現状を見

ながら検討して行って欲しい。

委員：体制変更はよいことだが、変更後は、地域包括支援センターにおいて1人で事務を行わなければならない。防犯対策等、安全確保を万全にして欲しい。

分科会長：体制変更後についても、分科会でフォローしながら、地域包括支援センターの課題について検討していければよい。